はぐくもう 思いやりの心
人権啓発シンボルマーク
人権擁護都市かに

ぬくもり

2020
73号
令和２年
７月１日発行

住みごこち一番・可児 ── 若い世代が住みたいと感じる魅力あるまちの創造

暗闇を抜けると明るい希望が待っている

「上を向いて歩こう」そして「思いやりの心」で悩める人を応援しましょう。

かぐや姫の散歩道（木曽川渡し場遊歩道）

特別寄稿

コロナウイルスと人権

可児市市民部長　肥田光久

新型コロナウイルスの猛威が、世界中を震撼させ、私たちの暮らしや働き方に大きな影響を与えています。同時に看過できない人権侵害が各地で起きています。

感染者の個人情報をネット上に晒したり、医療従事者の子どもの保育園利用を拒否したり、他県ナンバーの車を煽ったり、集団感染があった大学の学生というだけでアルバイト先から解雇されたりといった様々な差別行為が報道されています。

未知の感染症に対する不安と恐怖。恐怖から身を守るために、人は恐怖を与えるものを排除し差別すると言われています。

人の心に潜む根深い差別意識。社会的関心が薄まれば恐怖は収まりますが、差別意識は残り続けます。根差した意識は簡単には変えられないでしょう。結核、ハンセン病、エイズ…感染者への人権侵害は繰り返されてきました。一過性の取り組みでは解決しない問題だと思います。

感染者や医療従事者など様々な人たちが置かれた立場を想像し、優しく思いやることが差別を防止し、一人ひとりの人権を守ります。こうした他者を思いやる心は、継続的な人権啓発活動によって育まれ根づいていくと思います。一人ひとりが自覚することで、誰もが尊重される社会になるよう願い、貴センター皆様のご活躍をお祈り申し上げます。

目次

●特別寄稿 …… ❶
「コロナウイルスと人権」　可児市市民部長　肥田光久
●令和２年度の活動と令和元年度報告のあらまし… ❷
●特集「人権」について …… ❸
●コーナー …… ❹
心のドア ちょっといい話、「標語と300字小説」募集、「子どもの人権講演会」募集、ぬくもりまゆちゃん㉝、啓発のひかり

発行　可児市人権啓発センター（可児市総合会館2F）
〒509-0214　可児市広見1-5　TEL/FAX 0574(63)7990

ホームページ　可児ぬくもりネット　検索
アドレス http://www.kani-nukumorinet.jp/

令和2年度の活動と令和元年度報告のあらまし

目標 啓発人口　10,000名／年
（本センターの活動に関わり合った人数）

理念 人は差異・多様ゆえに認め、学び合う人間主義で！

重点
・持続可能な開発目標（SDGs）
「誰一人取り残さない」ことを誓って！
「子どもの人権教育への取り組み」
（「互いに思い合い、支え合い、助け合う！」）
～大人たちのぬくもりある自覚から～
未来ある子どもの育みを！

人権相談

NEW 学校・企業啓発・勉強会

街頭啓発活動

地区センターまつり巡回

NEW 人権本巡回制度（ぬくもりブックス・フロー）

- ぬくもり本（人権本）を巡回
- 児童用（各65冊）
- 1ヶ月毎に巡回
- 300字小説入賞作品（自作挿画付）ポスター

読書しおり差し上げます。

市内11小学校巡回
昨年度貸出数　2,445冊

機関紙（ぬくもり）（全戸配布・年3回）

人権マンガ「ぬくもりまゆちゃん」入り

ぬくもり教室

市内小学校　3、4年生対象に巡回
昨年度　土田小、広見小

ぬくもり講演会

「子どもの人権講演会」
子どものサインわかりますか Part1

ぬくもり標語・300字小説募集

市内小・中・高・一般に募集
昨年度応募総数3,698点（過去最多）
皆様のお陰です「多謝！」

NEW マンガまつり（人権マンガ）

人権マンガによる啓発
展示会を開催

人権週間（12月4日～10日）

NEW ホームページ・リニューアル

- センターの沿革
- お知らせ
- 心のビタミン
- 活動報告
- ぬくもり4コマ「マンガ」

令和元年度活動報告

〈1万人啓発運動〉
達成！
啓発人口実績
12,931名
（目標10,000名）

特集 「人権」について

**新型コロナウイルスの世相の中、差別・偏見の問題が多く報道されています。
今回は、差別・偏見について考えてみました。**

人権とは

- 全ての人々が生命と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利
- 人間が人間らしく生きる権利で、生まれながらに持つ権利
- 誰にとっても身近で大切なもの、日常の思いやりの心によって守られるもの

偏見・差別とは

- 偏見―中立ではない物の見方
- 差別―区別によって差をつける
  自分勝手な考え方や判断により、「そうに違いない、そうに決まっている」と否定的な決めつけをすること。

「偏見」が原因となり、偏った見方だけに留まらず、言動に出てしまうと「差別」となってしまう。

新型コロナウィルス感染症に関連して

国内外で新型コロナウィルスが拡がり、状況や情報は、日々変化をしています。
感染者、濃厚接触者、医療従事者等に対する誤解や偏見に基づく差別は、許されません。

風評による偏見や差別

［風評被害］…うわさにより、経済的な被害を受けること
根拠のないうわさ等、あるいは誤った情報により、人物、団体や物品など、何らかの被害をこうむること。

［コロナと差別］…「差別」には、どのようなことがあるでしょう？
①感染者に対する差別的な暴言
②医療従事者が、心ない仕打ちを受ける
③ SNS 等において患者個人の特定につながる内容の掲載や誹謗中傷
④個人のプライバシーに関する情報の無断掲示
（被害は本人だけではなく、子どもや家族にまで及ぶ）

公的機関の提供する正確な情報を入手して、冷静な行動に努めましょう。

新型コロナウィルス感染症に関連する人権相談

法務省の人権擁護機関では、不当な差別、偏見、いじめ等の被害に遭った方からの人権相談を受けつけています。

●みんなの人権 110 番（全国共通人権相談ダイヤル）…人権問題全般
☎ **0570-003-110**（平日、午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分まで）

●子どもの人権 110 番（いじめ、虐待など子どもの人権問題）
☎ **0120-007-110**（平日、午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分まで）

●女性の人権ホットライン（家庭内暴力などの女性人権問題）
☎ **0570-070-810**（平日、午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分まで）

●外国人人権相談ダイヤル（外国人のための人権相談）
☎ **0570-090911**（平日、午前 9 時から午後 5 時まで）

法務省　人権相談窓口

複写禁止

心のドア ちょっといい話

介護をするということ

★何の前触れもなく倒れ、脳梗塞と診断され歩けなくなった母。3ヶ月の入院を経て自宅での介護を始めて約6ヶ月。毎日3～4時間おきの紙パンツ等の交換、着替え、薬、3度の食事、その合間にポータブルトイレを使用しての排泄介助、こんな事のくり返し。幸い認知症はなく話もでき、右手で食事もできる。

★施設に入所させるか否か何日も迷った。でも何人かの力を借り家をリフォームし自宅介護の決断をし、現在に至っている。

★コロナ禍のおかげと言ってはしかられるが、今は皆、自粛生活。もしそうでなかったら、お花見や旅行等と出掛ける友をうらやましく思っていたかもしれない。でも皆同じ状況で家に籠っている。

★だからコロナ、いえ介護うつにならずにすんでいる(笑)。

★母はどんな事でも「いつもありがとう」と言ってくれ、二人で笑いながら暮らしている。またささいな愚痴でも電話で聞いてくれる友がいる。色々な人達の助けがあって、今、介護を続けていられる。

★「大変だね、大丈夫?」って言って下さる方が沢山いる。私の答えは〝大変!〟を〝笑い〟に変えて頑張っています!先の事は分からない。だから、一緒にいられる毎日を大切にしたい。

《コメント》

この方は、悩みに立ち向かう手段を身につけられた。それが母からもらえる笑顔、そして感謝の言葉。

人は感謝をされたときに幸せを感じ、「ありがとう」の声が、人を幸せにしてくれるのだろう。

ぬくもりまゆちゃん 33

作・画:miho／監修:m・h

〈おじいさん・おばあさんからのサポート〉

(当センター職員による作品です)

募集 ぬくもり人権啓発「標語と300字小説」第20回

●テーマ
道徳的な「感謝・希望・勇気・友情」の大切さ、尊さについて
＊小説は題名、会話を入れること

●応募資格
市内在住の人(小中学生)(高・一般)

●応募方法
はがきの表に住所・氏名・電話、裏に作品(小説1点、標語2点まで)

●応募締切
9月4日(消印有効)

●入賞作品数
標語30点・小説7点

●入賞発表
11月初旬本人通知
(小中学生は、学校から)

●作品展示(入賞作品)
人権週間前後(11月28日～12月13日)に市図書館で展示。また機関紙「ぬくもり」等に掲載
＊入賞者には、表彰状と図書カードを贈呈
＊小中学生は学校を通して応募してください。

●あて先
本センター宛(本表紙ご参照)

募集 子どもの人権講演会 入場無料

「子どものサインわかりますか?」Part.2

テーマ 「配慮が必要な子への親としての支援」
～生きづらさを和らげる対話術～

講師 小栗正幸 先生(法務省所属、心理専門家、特別支援教育ネット代表)

日時 11月13日(金) 13:00～15:00

場所 広見地区センター ゆとりピア

＊詳細は機関紙11月号にて

[啓発のひかり]

★暮れに近所の子供達と餅つきをします。今年も餅苗の田植が待っています。田の近くで暮らす子供達に色々な体験を提供したいと思っています。(H・S)

★日本人ってすごい!と思ったのは、マスク不足に、身の回りにあるものでの作り方や代用案を紹介する人、作る人がたくさんいたこと。「無いなら作ればいい」。できること、できないことがありますが、足りないものをあるもので補う。SDGsにも繋がっていきます。(m・w)

★新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、皆さんが一丸となり外出自粛の要請に応えた姿は、素晴らしいことだと思います。

そして、最前線で検査や治療などにご尽力されている医療従事者の方々にも心からの敬意を表したいと思います。

しかし、これらの方々や感染者とそのご家族、日本に居住する外国人の方々等に対する差別的な言動が広がっているとの情報もあります。

そのような差別や偏見は、決してあってはなりませんが、私たち一人ひとりの中に、もしかすると、潜んでいるかもしれません。今回の事態を社会や自身を省みるきっかけにしてほしいです。(m・h)